

日本語

ブラックダイヤモンドカラビナ & クイックドロ―取扱説明書

▲警告

本製品はロッククライミング及び登山以外の用途には使用できません。ロッククライミング及び登山は危険を伴う行為です。そのことを事前に理解し、危険を受け入れることが必要です。また、その行為中の行動と判断は本人の責任において行って下さい。本製品を使用する前に、取扱説明書に記載されている使用方法と警告を理解し、製品の性能と限界を熟知しておいて下さい。全てのクライマーは適切な指導者から技術を習得することを推奨します。ここに示した警告を守らなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

カラビナ & ロッキングカラビナ

ブラックダイヤモンド・カラビナはロッククライミング、アイスクライミングおよび登山専用に設計されています。この取扱説明書では代表的な使用例を紹介するとともにカラビナの限界についても触れています。実際には数え切れないほど多くの誤用例がありますが、ここではもっとも代表的な誤用例を図解しています。カラビナの正しい使い方を理解することは、クライミング中の危険を減らすことに繋がります。

カラビナは壊れることがあります

カラビナに刻印されている破断強度は、適正な方向にその力を加えるとカラビナが壊れてしまうことを表しています。カラビナは図13のように主軸に対して縦の2方向に荷重を掛けたときのみ強く、それ以外の向きに荷重を掛けると大変危険です。

使い方

◆ゲートがスプリングの下で閉じていることを確認して下さい。ゲートがスムーズに動くことを常に確認して下さい。ゲートのノーズとビンジがきちんと噛み合い、引っ掛かり無く開閉することを点検して下さい。
◆カラビナにロープをクリップする時は、ロープがカラビナの後ろから前に抜け、岩から離れるようにして下さい(図1)。
◆カラビナのゲートは、クライマーの進行方向に対して反対に向けて下さい(図4)。
◆同時に3方向からカラビナに加重しないで下さい(図6)。
◆カラビナが岩角をまたいだ状態で加重しないで下さい(図7、8)。
◆どんなタイプのカラビナであっても、ゲートに対して横向きに加重はしないで下さい(図9)。
◆特定の状況下ではカラビナのゲートが開いてしまうおそれがあることを理解して下さい(図10、11)。ゲートの開いたカラビナは強度が低下している上、ロープが外れやすいので大変危険です。クライミング中も常にゲートが開いていないかを確認して下さい。少しでもゲートが開きやすい状況では、ゲートの向きを互い違いにした2枚のカラビナを組み合わせるか(図12)、ロッキングカラビナを使用して下さい(図14)。
◆ゲートの噛み合わせ部分は泥、汚れ、氷などが詰まりやすく、完全にはゲートが閉じない場合があります。ゲートの閉まり具合を常に点検し、必要に応じて汚れを取り除いて下さい。

ロッキングカラビナ

クライミング中には1枚のノンロッキングカラビナでは安全性が十分でない場合が数多くあります。ビレIANカーやトップロープをセットする時、ビレイ/ラッペル器具をハーネスにセットする時などにロッキングカラビナを使用して下さい。
◆ロッキングカラビナを使うことでプロテクションの安全性と心理

的な安心感が高まります。より安全性の高いコネクターが希望される場合はいつもロッキングカラビナを使用して下さい。ゲートがスムーズに動くこと、ゲートのノーズとビンジがしっかりと噛み合い、引っ掛かりが無いことを常に点検して下さい。
◆ロッキングスリーブ上をロープが流れないようにして下さい(図15)。

ロッキング機構

スクリューゲート：ロッキングスリーブを手動でロックする機構。操作が簡単な上、価格が手頃なので数多く揃えることができます。
開け方：ノーズが完全に見えるまでロッキングスリーブを緩め、ゲートを開けて下さい。
閉め方：ノーズが隠れるまでロッキングスリーブをしっかりと締めして下さい。ゲートが完全に閉じていること、スリーブがしっかりと締まっていることを点検して下さい。
ツイストロック：ゲートを閉めると自動的にロッキングスリーブがロックされる機構。
開け方：ロッキングスリーブを1/4回転させてからゲートを開いて下さい。
閉め方：ゲートを閉じると自動的にロッキングスリーブがロックされる位置まで回転させます。ゲートとロッキングスリーブが正しく閉まっていることを点検して下さい。

◆ロープのクリップ方法はノンロッキングカラビナと同じです。ロープはカラビナの後ろから前方に向かって抜けるようにクリップして下さい。
◆ロッキングカラビナといえどもロープが外れてしまうことがあります。カラビナのボム部分が下になり、ゲートが進行方向に対して反対を向き、ロープがカラビナの主軸上を流れていることを確認して下さい(図14)。
◆ロッキング、ノンロッキングを問わず、ゲートに対して横方向の荷重を掛けないで下さい。ビレイ/ラッペルの際はビレイ/ラッペル器具とビレイループによってロッキングカラビナに横向きに荷重が掛かっていることを確かめて下さい。
◆ロッキングスリーブが確実にロックされていることを常に点検して下さい。

◆ロッキングカラビナに関する注意：ロッキングカラビナといえども開いてしまうことがあります。ロープがロッキングスリーブ上を流れると、スリーブがロック位置から回転してしまいます。
◆ロッキング、ノンロッキングを問わず、ロープがゲート上を流れないようにして下さい(図15)。

警告

！ロッククライミングと登山において経験の代用になるものはありません。あなたの経験が十分でない場合は、経験豊富なクライマーの指導の下にカラビナを使用して下さい。
！フィギアイト型のビレイ/ラッペル器具はカラビナのゲートに向かって滑りやすく、これらがゲートに載った状態で加重すると、この力で簡単にゲートが壊れてしまいます(図16)。これらの器具がゲート上に載っていないことを確認して下さい。
！ビレイ/ラッペルの際はロッキングカラビナが回転して横向きになり、ハーネスのビレイループとビレイ/ラッペル器具によって横向きに引っ張られていないことをチェックして下さい。横方向の荷重が掛かったカラビナには最大でもマイナーアクシスの強度しかありません。
！アルミ製カラビナは温度の上昇に従って強度を低下させますが、非常に低い温度でも強度と耐久性を維持します。80℃以上の環境でカラビナを使用しないで下さい。また250℃以上の高温に晒さないで下さい。
！カラビナを化学薬品に接触させないで下さい。

手入れとメンテナンス

カラビナのゲートは内蔵スプリングの力で完全に閉じていなければいけません。ゲートピンやノーズ

に埃が詰まって動きがが渋くなったり、ゲートが開いたまま閉じなくなったり、きれいな温水で洗い流し、完全に乾かして下さい。乾燥後ゲートピンに潤滑剤を少量差し、はみ出した潤滑剤は拭き取って下さい。海水、潮風に触れた場合は洗浄、乾燥、注油を常に行ってください。

保管

◆スチーマラジエーター、暖炉等熱源のそばに保管しないで下さい。
◆バッテリー液、溶剤、ガソリン等の腐食物質に接触させないで下さい。
◆持ち運ぶときは傷つけたり摩擦しないようにして下さい。
◆清潔で乾燥した直射日光の当たらない場所に保管して下さい。

耐用年数

カラビナの耐用年数を判断するのは困難ですが、通常の使い方ですら適切に手入れを行った場合で10年が目安です。しかしながら少しでも安全性に不安を感じる場合は、使用を止める十分な理由になります。あなたがそのカラビナに全幅の信頼を抱いていない場合、そのカラビナには信頼性があるとは言えません。たとえ外見に損傷が見られなくても、ダメージがあると感じた場合は自分の判断に従い使用を止めて下さい。

点検と破棄

カラビナの使用前後には必ず異常がないかどうかを点検し、以下のような症状が現れたら使用を止めて下さい。
ひび、鋭いエッジ、バリ、ゲートリベットの曲がりや緩み、ゲートスプリングの弱り、大きな傷、ゲートが完全に閉じない、なんらかの構造上の破損

カラビナにヤスリ掛けを含むいかなる改造も加えないで下さい。どんな形であれダメージを受けたカラビナは、使用を止めて破棄して下さい。

他製品の選択

ブラックダイヤモンド・カラビナは必ずCEN規格適合の製品と併用して下さい。

ドッグボーン

使い方

ドッグボーンスリングは2個のカラビナを連結してクイックドロ―にする際に使用します。ボルト/プロテクションクリップ用のトップカラビナは、ドッグボーンの大いいループに通して下さい(図17A)。ロープクリップ用のボトムカラビナは、回転防止のラバーが付いた小さいループに通して下さい(図17B)。

警告

！スリングが鋭い岩角をまたがないようにして下さい(図18)。
！ドッグボーンの1個のループに2枚のカラビナを同時にクリップしないで下さい(図19)。
！濡れたり凍っているソウンスリングは強度が約2kN低下します。

手入れとメンテナンス

◆中性石鹸を使って水洗いして下さい。成分の強い合成洗剤や漂白剤は使わないで下さい。きれいな水で良くすすぎ、直射日光の当たらない場所で陰干して下さい。
◆バッテリーの溶液や煙霧、溶剤、塩素漂白剤、不凍液、イソプロピルアルコール、ガソリン等の腐食物質に触れさせないで下さい。
◆縫ったり縫い直したり、ほつれた縫い目を焼きつぶしたり、ウェビングを漂白したり等、いかなる変更も加えないで下さい。

保管

◆清潔で乾燥した直射日光の当たらない場所に保管し、熱源や腐食物質を近づけないで下さい。
◆小動物やペットに噛られないようにして下さい。また鋭利な物や摩擦から保護して下さい。

耐用年数

通常の使い方ですら適切な手入れをした場合、ドッグボーンスリングの耐用年数はおよそ3年です。耐用年数は使用頻度と使用条件によって長くも短くもなります。寿命を短くする要因
墜落、摩擦、切断、擦り切れ、熱、紫外線、腐食物質

点検と寿命

使用前後にドッグボーンに損傷や摩擦が無いかを点検して下さい。ギアが良好なコンディションであることは非常に重要です。信頼性に欠けるギアは即座に使用を止めて下さい。下記のような場合は使用を止めて破棄して下さい。
◆ウェビングに裂け目や穴が見られたり、ウェビングが焦げたり溶けたりしている
◆縫い目に解れが見られたり、パータック(ギザギザの縫い目)やウェビングにひどい摩耗が見られる

◆ウェビングが紫外線で退色している
◆ドッグボーンが激しい墜落を受け止めた場合、例え目に見えるダメージが無くとも使用を止めた方が良いかもしれません。ギアの信頼性に少しでも不安を感じる場合は使用を止めて新品に買い換えて下さい。

ブラックダイヤモンド・ドッグボーンはEN566(登山用品・スリングの安全基準および試験方法についてのヨーロッパ規格)に適合しています。

マーキングの意味

BLACK DIAMOND：メーカー名
USA：ブラックダイヤモンド本社の所在国

◆：ブラックダイヤモンドのロゴ
22kN：破断強度
日付コード：9134という数字の場合、製品が1999年の134日目に製造されたことを示します。
⊕：製品がタイプHコネクターに分類されることを表します。これら“HMS”洋梨型カラビナは、主に Munterヒッチを使ったダイナミックビレイのためにデザインされています。
⊗：製品がタイプX[®]オーバルコネクターに分類されることを表します。

↔：ゲートを閉じた状態でのカラビナの主軸に沿って加重した時の破断強度をkNで表しています。

↷：ゲートを開いた状態でカラビナの主軸に沿って加重した時の破断強度をkNで表しています。

↓：マイナーアクシス(カラビナの主軸に対して横向きに荷重)の破断強度を表しています。
CE：このCEマークは、ブラックダイヤモンド社と本製品が個人保護器具に関する指令(89/686/EEC)の要求を満たしていること、ISO9001の認証(QUAL/1998/10072)を受けていること、11B条項に適合していることを表しています。
CE0639：認証/監査機関
AF4Q AFNOR International
認証機関番号 0639
CE0333：認証/監査機関
AFNOR Certification
認証機関番号 0333

AFNORの所在地は下記の通り
11 rue Francis de Pressensé, 93571 La Plaine Saint Denis Cedex, France
製品試験は下記機関により指導されています。認証機関番号は0082です。
CETE APAVE SUDEUROPE
BP193, 13322, Marseille Cedex 16, France

1年間保証

ご購入ただいでから1年間、第一購入者に限り、品質もしくは製造上の欠陥が見つかった場合無償交換いたします。欠陥が見つかった場合、ご購入店にお持ち込みいただくか、輸入代理店に直接お送り下さい。製品を無償にて新品交換いたします。無償交換をこの保証における責務の上限とし、保証期間の満了とともに、その責務も終了するものとします。

保証の対象外

以下のケースは1年間保証の対象外となります。
通常の損耗、メーカーが認めている以外の部品を交換したり製品に改造を加えたことによる損傷、間違った使い方や手入れによる損傷、事故、不注意、目的外の使い方をしたことによって生じた損傷

<p>ブラックダイヤモンド日本総代理店 株式会社ロストアロー 〒350-2213 埼玉県鶴ヶ島市脚折1386-6 TEL：049-271-7113 (ユーザーサポート) e-mail：info@lostarrow.co.jp www.lostarrow.co.jp</p>

